

第12期環境保健調査研究の公募に係る採択課題の決定について

平成31年4月1日(月) 連絡先 044-520-9570
 独立行政法人環境再生保全機構
 予防事業部 事業課
 課長 鈴木
 担当 山本、小早川

1. 概要

環境再生保全機構（以下「機構」という。）は、環境省所管の独立行政法人であり、「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づき、大気汚染による健康被害の予防に関する事業として、ぜん息等の発症予防や健康回復に関する各種事業を実施しています。

機構では公害健康被害予防事業（以下「予防事業」という。）の一環として、地方公共団体が実施する地域住民を対象とするぜん息等の発症予防・健康回復に直接つながる健康相談事業、健康診査事業及び機能訓練事業（ソフト3事業）に助成しており、これら予防事業の効果的な実施に資する環境保健に係る調査研究を実施しております。

平成31年1月7日から2月7日まで第12期（調査研究期間：2019～2021年度）の公募を行ったところ、24件の応募がありました。

応募のあった調査研究申請書について、機構外の学識経験者から構成される調査研究評価委員会（環境保健分野）の評価結果をもとに、下表の7件について採択することを決定しましたのでお知らせします。

2. 採択課題一覧

分野	調査研究課題名	委託業務名（申請課題名）	研究代表者	役職	所属施設
(1)小児・成人ぜん息に関する調査	①小児ぜん息のハイリスク群を鑑別するための評価手法とフォローアップ指導法の検討	小児ぜん息のハイリスク群を鑑別するための評価手法とフォローアップ指導法の検討	望月 博之	教授	東海大学医学部
	②高齢者を含む成人ぜん息患者の個別化治療を目指した治療実態の把握及び効果的な治療・療養方法の策定	高齢者を含む成人ぜん息患者の個別化治療を目指した治療実態の把握及び効果的な治療・療養方法の策定	鈴木 真穂	生化学研究室長	国立病院機構 東京病院 臨床研究部
(2)COPDに関する調査	①COPD患者の自己管理と重症化予防	COPD身体活動性関与因子の詳細分析と目標値設定に基づく自己管理法の構築	南方 良章	院長	国立病院機構 和歌山病院
	②喫煙及び受動喫煙のCOPD等における健康被害の評価	喫煙及び受動喫煙のCOPD等における健康被害の評価	相良 博典	主任教授	昭和大学
(3)気管支ぜん息・COPDの動向等に関する調査	①気管支ぜん息の動向等	ライフサイクルから考えるぜん息の長期予後と寛解・増悪に関わる因子の解明に関する研究	藤澤 隆夫	院長	国立病院機構 三重病院
		表現型別のぜん息増悪因子の同定と長期予後の解析 - 非2型炎症を有するぜん息病態の検討を含めて -	長瀬 洋之	教授	帝京大学
	②乳幼児ぜん息の一次予防に向けた適切な乳幼児健診のあり方の検討	乳幼児健診から探索するぜん息発症の関連因子の同定及び予防への応用	山本 貴和子	チームリーダー	国立成育医療研究センター エコチル研究部

* 御不明な点等がございましたら、上記連絡先電話番号（044-520-9570）まで問合せください。